

(8) 保健・福祉施設

ア 保健施設

① サービス状況

本市では、市民の健康増進並びに疾病の予防及び社会福祉等の相談を行い、公衆衛生及び社会福祉の向上に寄与することを目的に保健センターを設置しています。

業務内容としては、健康診査、保健指導、母子保健、健康づくり事業などが行われています。また、会議室や研修室、調理実習室を備えており、貸館施設としての機能も備えています。

合併前の旧1市3町である長門、三隅、日置、油谷の4か所にあり、いずれも合併以前に本庁舎または支所とは別の建物として建設されており、各地区における保健福祉サービスの拠点となっています。

長門市保健センターは健康増進課の事務室があり、保健センター全体の総括的役割も担っています。また、三隅・日置・油谷の各センターは、出先機関としての役割を担うとともに、三隅・油谷では社会福祉協議会の運営によるデイサービス機能があり、油谷では子育て支援センターの機能も併せ持っています。

なお、三隅保健センターには、平成25年10月から三隅支所が移転して複合施設となり、同様に26年度には日置支所が同じ敷地内の日置保健センターに機能移転しています。

② 建物状況

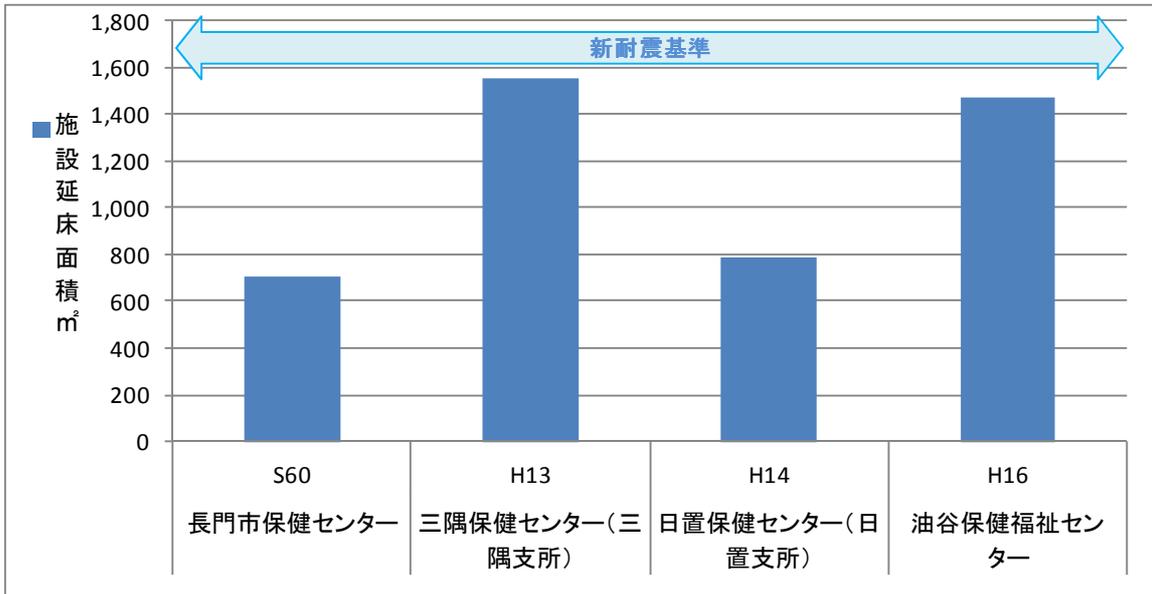
長門市保健センターは、新耐震基準以降の昭和60年度の建築であるため耐震性はありますが、建築後約30年を経過していることから、今後修繕等の老朽化対策が必要になることが予想されます。

一方、三隅保健センターが平成13年、日置保健センターが平成14年、油谷保健福祉センターが平成16年の建築で比較的新しいものが多く、バリアフリー化も済んでいるなど施設機能が高いこともあり、前述のように三隅・日置両センターには支所機能が入り複合施設となっています。

◆ 主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(m ²)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	長門市保健センター		S60	RC	2		709	実施済み	不要
2	三隅保健センター(三隅支所)	三隅支所	H13	RC	1		1,553	実施済み	実施済み
3	日置保健センター(日置支所)	日置支所	H14	RC	1		784	未実施	未実施
4	油谷保健福祉センター		H16	RC	1		1,476	不要	不要
	全体						4,522		

◆築年度別の整備状況



③管理運営状況

保健センターの開館時間は、基本的に年末年始と土日祝日を除く平日の8時30分～17時15分です。なお、会議室や講座室等の貸室がある場合は、土日祝日や夕方以降でも開館する場合があります。

このうち、油谷保健福祉センターは、平日は17時15分以降も20時までトレーニングルームが利用可能です。

なお、三隅保健センターと油谷保健福祉センターでは、社会福祉協議会が運営するデイサービスの機能もあり、このうち油谷保健福祉センターでは平日だけでなく土曜日にも行われています。

◆開館状況一覧

No	施設名	併設施設	開館状況			
			開館日		休館日	
			平日	土日祝	定期休館日	備考
1	長門市保健センター			—	土曜・日曜及び祝日 年末年始12/29～1/3 ※但し、各所管の企画により臨時に運営する場合あり	
2	三隅保健センター(三隅支所)	三隅支所	8:30～17:15	—		
3	日置保健センター(日置支所)	日置支所		—		
4	油谷保健福祉センター		8:30～17:15(20:00)	土曜日デイサービス		

④利用状況

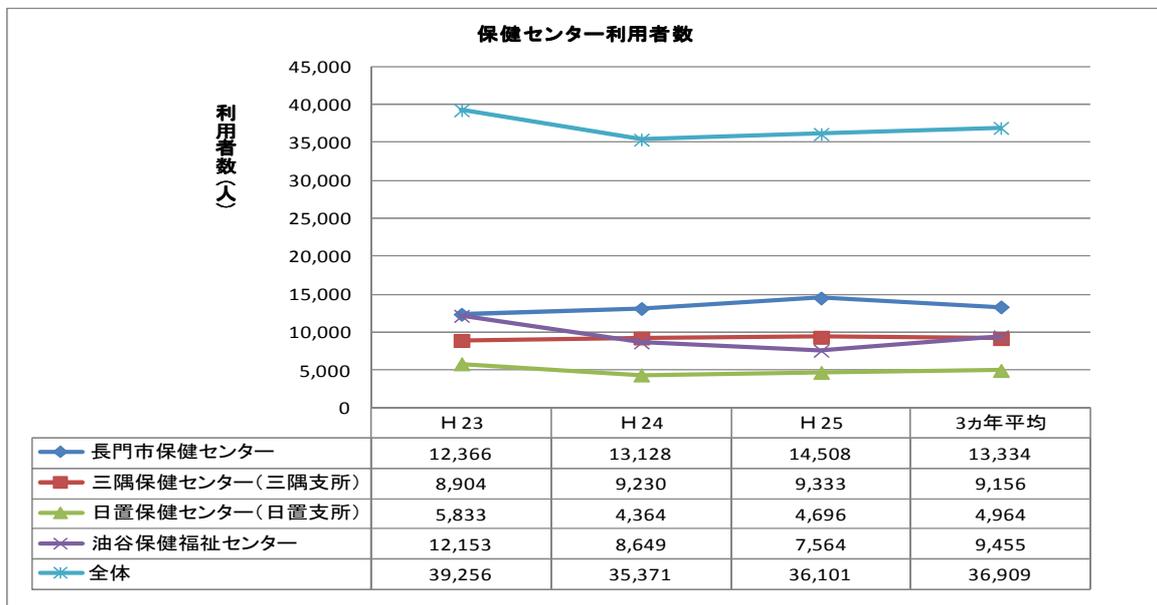
保健センター全体での窓口等の利用者数（平成23年～25年の3カ年の平均）は、年間約3万7,000人となっています。

第3章 公共施設の現状

施設別に見ると、長門市保健センターが約1万3,300人、三隅保健センター（支所利用を除く）が約9,200人、日置保健センターが約5,000人、油谷保健福祉センターが約9,500人となっています。利用者数を各地域の人口と比較した場合、三隅・油谷の両センターで利用率が比較的高くなっています。

また、いずれの施設も過去3カ年で大きな増減はありませんが、人口減少時代にあっても高齢化の進展や健康意識の高まり等により利用者が現状維持または増加することも見込まれ、中でも三隅・油谷の両センターで行われているデイサービス事業の利用者は年間の合計で4千人程度利用があり、今後しばらくは利用者が増えることも予想されます。

◆保健センターの利用状況



⑤コスト状況

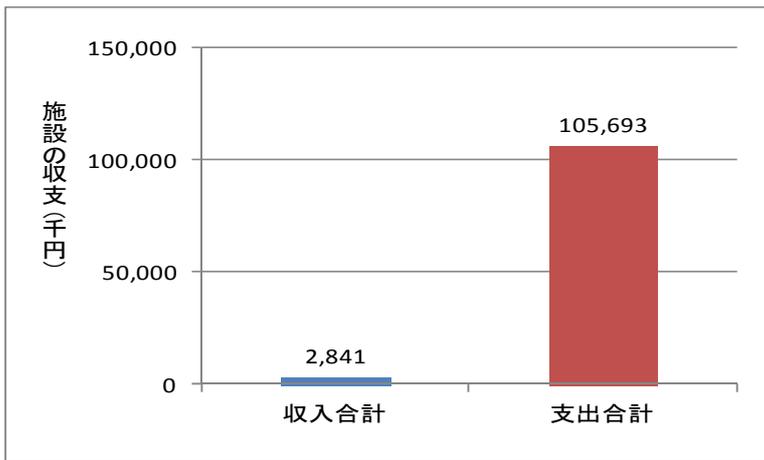
各保健センターの管理運営コスト（平成23年度から平成25年度の3カ年平均）は、長門市保健センターが約4,800万円、三隅保健センターが約2,600万円（平成25年度途中からは三隅支所と複合施設になった）、日置保健センターが約116万円（平成25年度は日置保健センター内には職員がおらず支所を事務所としていた）に、油谷保健福祉センターが約3,000万円となっています。

また、施設維持管理費を建物の延床面積で除して1㎡あたりの維持管理費を算出すると、平均が2,536円/㎡となり、最小1,886円/㎡（三隅保健センター）から最大3,976円/㎡（長門市保健センター）とおおよそ2倍の差があります。

いずれの施設も、経年による建物や設備等の修繕により、一時的にコストが増加する年度がありますが、経常的コストの変動はあまりありません。

◆維持管理経費の状況

No	施設名	収入(H23～H25年度平均)(千円)			支出(H23～H25年度平均)(千円)		
		使用料等	その他収入	収入合計	施設維持管理費	事業運営費	支出合計
		A	B	C=A+B	D	E	F=D+E
1	長門市保健センター	134	0	134	2,819	45,190	48,009
2	三隅保健センター(三隅支所)	28	388	416	2,930	23,426	26,356
3	日置保健センター(日置支所)	19	0	19	1,157	0	1,157
4	油谷保健福祉センター	219	2,052	2,271	4,563	25,608	30,171
	合計	401	2,440	2,841	11,468	94,225	105,693



⑥まとめ

保健センターは、健康診査、健康相談、保健指導等の保健サービスに関する事業等を行い、市民の健康保持及び増進を図るため、合併以前から長門、三隅、日置、油谷の4か所に設置されており、各地区における保健福祉サービスの拠点です。

建物状況は、長門市保健センターが、耐震性はあるものの、建築後約30年を経過していることから、今後施設の老朽化によるコストの増加が予想されます。

その一方、三隅・日置・油谷の各センターは建設後10年～13年程度で新しく施設性能も高いことから、三隅・日置では支所との複合施設となっていますが、油谷では支所と少し距離があり単独施設となっています。

また、各センターにおいてサービス内容が少し異なることから、管理運営状況も異なりますが、健康診査、健康相談、保健指導、デイサービス等の機能は重要であり、高齢化の進展などにより今後しばらくは現在の利用者数が続くと思込まれます。

全保健センターの管理運営コストは年間約1億円であり、1㎡あたりの施設維持管理費では、多い施設と少ない施設でおよそ2倍の差があります。いずれの施設も、経年による建物や設備等の修繕により、一時的にコストが増加する年度もありますが、経常的コストの変動はあまりありません。

今後も、事業内容や利用者数、管理運営コスト等を踏まえながらあり方を随時見直していく必要があります。

イ 高齢者福祉施設等

①サービス状況

本市の高齢化率（65歳以上の人口÷総人口）は36.7%（H26.4.1現在）と県内他市町に比べても高い状況にあります。このため、市では高齢者の誰もが住み慣れた地域で安全に安心して生きがいを持って生活し続けることができるように、さまざまな事業を実施しています。

市内には、高齢者の交流の促進と福祉向上を図るために設置された、高齢福祉施設が19施設あり、長門市地域福祉センターや日置地域福祉センターのように地域福祉の核となる施設と、各地域でサロン等の交流事業を行う老人憩いの家、交流施設に分けることができます。

これらの施設を拠点として、高齢者の交流や就業機会の確保、更には健康増進活動を自主的に行える場所としており、多くの市民に利用されています。

②建物状況

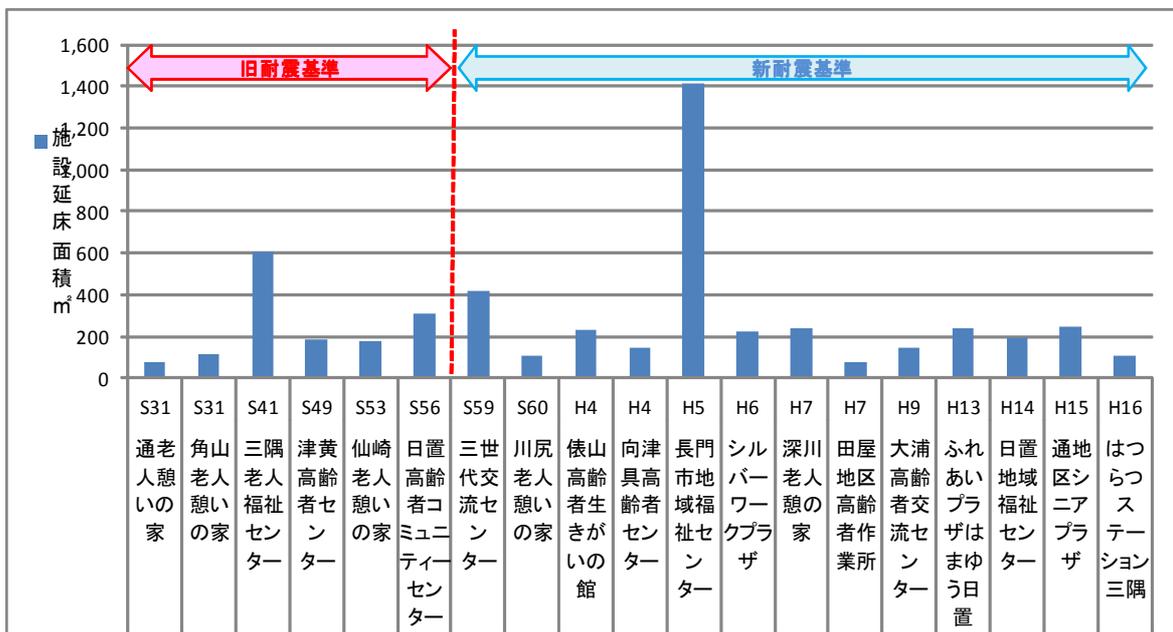
高齢者福祉施設のうち、長門市地域福祉センターや日置地域福祉センターのように地域福祉の核となる施設は、鉄筋コンクリート造で比較的新しくなっています。

また、地域毎にある老人憩いの家等は木造建築が多く、比較的新しいものが多いものの、昭和30年代から40年代にかけて建築されたものもあり、今後は老朽化対策が必要になります。

◆主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(m ²)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	長門市地域福祉センター		H5	RC	3		1,417	未実施	不要
2	シルバークラブプラザ		H6	S	2		225	不要	不要
3	通地区シニアプラザ		H15	W	1		243	未実施	不要
4	通老人憩いの家		S31	W	1		73	未実施	未実施
5	仙崎老人憩いの家		S53	W	1		174	未実施	未実施
6	深川老人憩いの家		H7	W	1		235	未実施	不要
7	田屋地区高齢者作業所		H7	RC	1		75	未実施	不要
8	俵山高齢者生きがいの館		H4	W	1		230	未実施	不要
9	はつらつステーション三隅		H16	W	1		106	未実施	不要
10	三隅老人福祉センター		S41	W	1		605	未実施	未実施
11	野波瀬三世交流館		S59	W	1		419	未実施	不要
12	日置地域福祉センター		H14	RC	1		192	未実施	不要
13	ふれあいプラザはまゆう日置		H13	W	1		239	未実施	不要
14	日置高齢者コミュニティーセンター		S56	S	1		311	未実施	未実施
15	角山老人憩いの家		S52	W	1		111	未実施	未実施
16	川尻老人憩いの家		S60	W	1		107	未実施	未実施
17	津黄高齢者センター		S49	RC	1		185	未実施	未実施
18	向津具高齢者センター		H4	W	1		144	未実施	不要
19	大浦高齢者交流センター		H9	W	1		145	未実施	不要
	全体						5,237		

◆築年度別の整備状況



③管理運営及びコスト状況

長門市地域福祉センターは指定管理者制度により社会福祉協議会の事務所として利用しており、指定管理料を支出しています。同様に、日置地域福祉センターも社会福祉協議会に無償貸出しており収入支出はありません。なお、開館時間は8:30~22:00となっています。

また、シルバーワークプラザもシルバー人材センターの事務所として無償貸出しており、収入支出はありません。

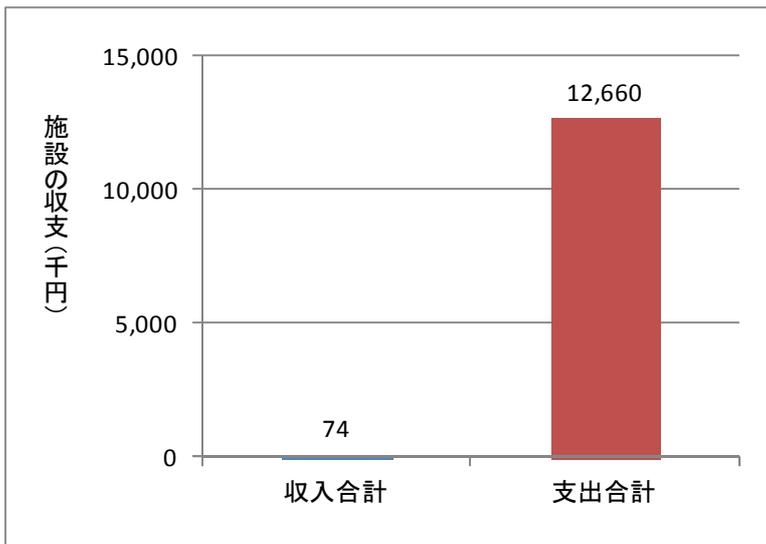
一方、各地域の老人憩いの家等は、基本的に市の直営ではありますが、いつでも利用できるよう日常の管理運営は地元団体に委ねています。これらの施設の維持管理経費としては、1施設あたり年間20万円程度かかっており、主な支出は光熱水費（電気・水道代）や修繕料となっています。いずれの施設も、経年による建物や設備等の修繕により、一時的にコストが増加する年度がありますが、経常的コストの変動はあまりありません。

また、これらの施設は基本的に無料の施設であるため、収入はありません。



◆維持管理経費の状況

No	施設名	収入(H23～H25年度平均)(千円)			支出(H23～H25年度平均)(千円)		
		使用料等	その他収入	収入合計	施設維持管理費	事業運営費	支出合計
		A	B	C=A+B	D	E	F=D+E
1	長門市地域福祉センター	0	0	0	6,371	2,819	9,190
2	日置地域福祉センター	0	0	0	0	75	76
3	シルバーワークプラザ	0	0	0	0	0	0
4	日置高齢者コミュニティーセンター	1	0	1	321	0	321
5	通地区シニアプラザ	0	67	67	290	0	290
6	通老人憩いの家	0	3	3	160	0	160
7	仙崎老人憩いの家	0	2	2	175	0	175
8	深川老人憩いの家	0	1	1	322	0	322
9	田屋地区高齢者作業所	0	0	0	0	0	0
10	俵山高齢者生きがいの館	0	1	1	232	0	232
11	三世代交流センター	0	0	0	146	0	146
12	ふれあいプラザはまゆう日置	0	0	0	377	0	377
13	角山老人憩いの家	0	0	0	205	0	205
14	川尻老人憩いの家	0	0	0	40	0	40
15	津黄高齢者センター	0	0	0	19	0	19
16	向津具高齢者センター	0	0	0	56	0	56
17	大浦高齢者交流センター	0	0	0	499	0	499
18	はつらつステーション三隅	0	0	0	66	0	66
19	三隅老人福祉センター	0	0	0	486	0	486
	合計	1	73	74	9,766	2,894	12,660



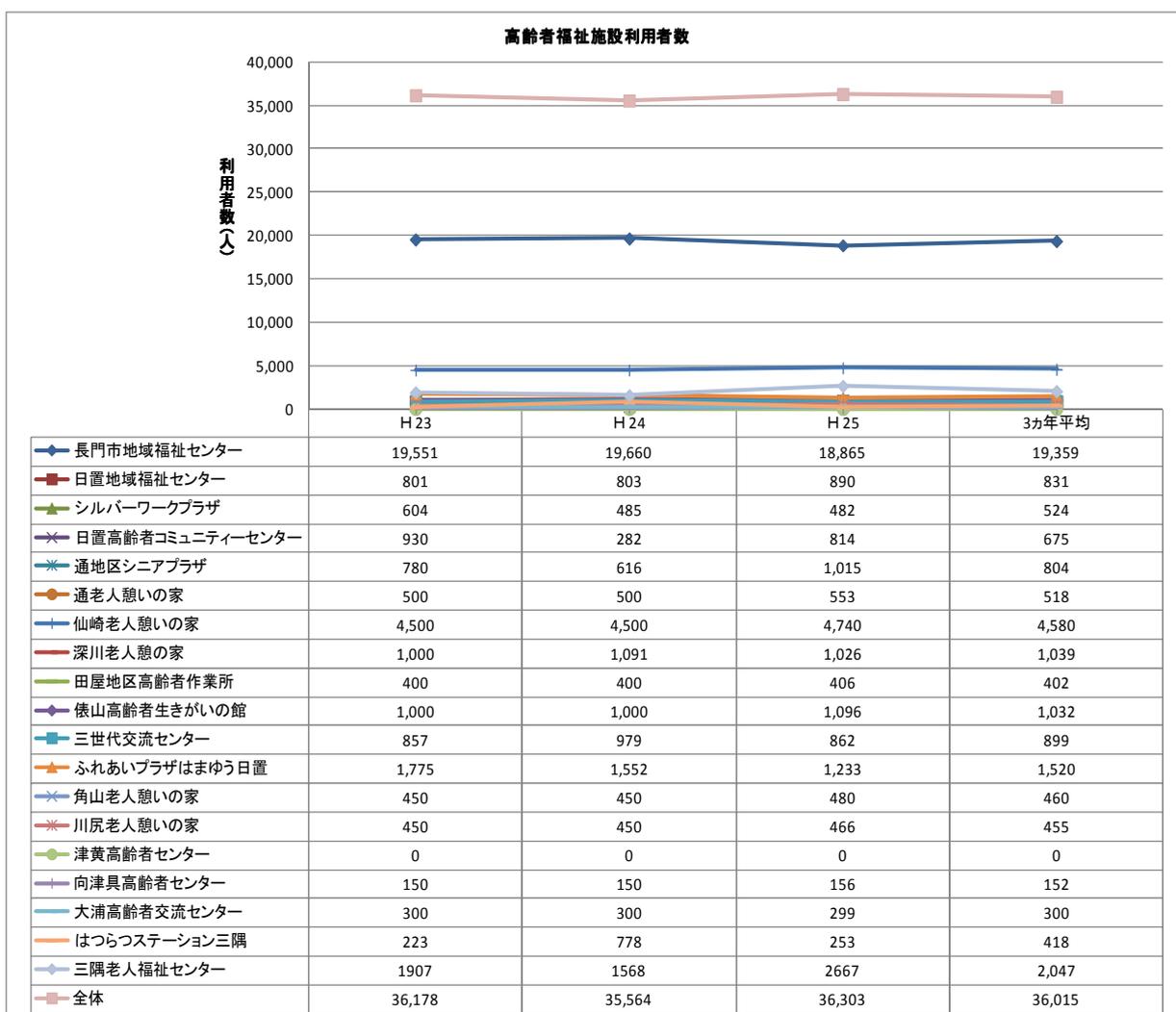
④利用状況

平成23年度～25年度の3カ年の年間平均利用者数は、長門市地域福祉センターが1万9,359人、日置地域福祉センターが831人、シルバーワークプラザ(シルバー人材センター登録者数)が524人であり、いずれも過去3カ年では減少傾向にあります。

また、各地域の老人憩いの家等は、施設規模や対象エリア人口に差があるため一概には言えませんが、老人クラブのような団体の活動が以前より少なくなっていることから、利用者は総じて減少傾向にあります。

◆各施設の利用状況

No	施設名	利用者数(人)				備考
		H23	H24	H25	3年平均	
1	長門市地域福祉センター	19,551	19,660	18,865	19,359	
2	日置地域福祉センター	801	803	890	831	
3	シルバーワークプラザ	604	485	482	524	シルバー人材センター登録者数
4	日置高齢者コミュニティセンター	930	282	814	675	
5	通地区シニアプラザ	780	616	1,015	804	
6	通老人憩いの家	500	500	553	518	H23及びH24は推定値
7	仙崎老人憩いの家	4,500	4,500	4,740	4,580	H23及びH24は推定値
8	深川老人憩いの家	1,000	1,091	1,026	1,039	H23は推定値
9	田屋地区高齢者作業所	400	400	406	402	H23及びH24は推定値
10	俵山高齢者生きがいの館	1,000	1,000	1,096	1,032	H23及びH24は推定値
11	三世代交流センター	857	979	862	899	
12	ふれあいプラザはまゆう日置	1,775	1,552	1,233	1,520	
13	角山老人憩いの家	450	450	480	460	H23及びH24は推定値
14	川尻老人憩いの家	450	450	466	455	H23及びH24は推定値
15	津黄高齢者センター	0	0	0	0	現在利用なし
16	向津具高齢者センター	150	150	156	152	H23及びH24は推定値
17	大浦高齢者交流センター	300	300	299	300	H23及びH24は推定値
18	はつらつステーション三隅	223	778	253	418	
19	三隅老人福祉センター	1907	1568	2667	2,047	
	全体	36,178	35,564	36,303	36,015	



⑥まとめ

本市には、高齢者の交流の促進と福祉向上を図るために設置された高齢福祉施設が19施設あり、高齢者の交流や就業機会の確保、更には健康増進活動を自主的に行える場所としており、多くの市民に利用されています。

建物状況は、地域福祉の核となる長門及び日置の地域福祉センター（社会福祉協議会の事務所）等、比較的新しい施設が多いものの、各地域ごとにある老人憩いの家等は、木造建築が多く、建築後40年以上経過した施設もあり、今後は老朽化対策が必要になります。

管理運営状況は、長門・日置地域福祉センター及びシルバーワークプラザは、社会福祉協議会及びシルバー人材センターに対し、指定管理者として管理を委託したり、無償貸付しています。

一方、各地域の老人憩いの家等は、基本的に市の直営ではありますが、いつでも利用できるよう日常の管理運営は地元団体に委ねており、施設の利用は無料であり、光熱水費や修繕料等の維持管理費を支出しています。

利用状況は、施設規模や対象エリア人口に差があるため一概には言えませんが、老人クラブのような団体の活動が以前に比べ少なくなっていることもあり、施設全体の利用者は減少傾向にあります。

今後の高齢者福祉の需要を見据えると、重要な役割を担う施設ですが、今後の市民ニーズ等を踏まえながら、提供サービスのあり方などを検討していくことが課題となります。

